交通事故損傷

交通事故損傷：加害者は業務上過失致死傷、道路交通法違反を問われる。
事故内容（衝突、轢過など）、車輌重量・速度、被害者（歩行者・二輪車・乗用車など）
→多面的な外力を人体に及ぼす→特徴ある損傷を形成→逆に事故内容を推測
＜法医学的解析事項＞
　特徴ある損傷から事故内容を推定

1. 死因
    a. 頭部損傷
    b. 臓器損傷による出血多量
    c. 長管骨の骨折による脂肪塞栓症→呼吸不全
       外表の損傷が少なく内部で重篤な場合→検死時に病死と識別しにくい。
2. 加害車種の推定・受傷機転の推定（ひき逃げ事故）
3. 単独事故か二重事故か（後者の場合は致命傷を与えた車輌を推定）
4. 乗車位置（特に運転者）の識別（車内事故）
5. 病気の発症や飲酒・薬物服用との関連

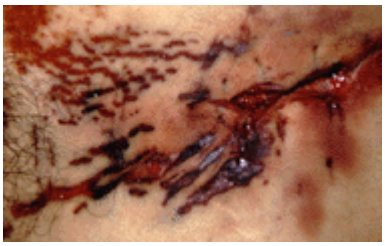
＜歩行者の損傷＞

A. **衝突創 impact injuries**：地面から一定の高さで水平、時に接触部位の形状を示す。
    1. 第一次損傷：
       車輌（バンパーなど）との最初の接触による衝突創
       ○バンパー創 bumper injuries：
         立位→下腿部（乗用車）、大腿部（大型車）
       ○メスラー（Messerer、楔型）骨折：
         楔型の先端が衝突方向を示す。
       （右図は腓骨 Messerer 骨折の X 線写真）
    2. 第二次損傷：
       ボンネット上に回転し、ボンネットやフロントガラスに衝突してできる衝突創
    3. 第三次損傷：
       地面に投げ出されて生じる転倒創 road injuries

B. **轢過創 run over injuries**：タイヤが人体を轢過する際に生じる損傷
    体幹では方向性、連続性のある圧迫損傷。
    身体の両面（車輌と路面）から圧迫（特に頭部）。
    泥酔して夜間路上に横臥し、轢過される事例が多い。
    1. タイヤマーク創 tire mark injuries
       タイヤ踏面の幾何学模様が皮膚に印象（皮下出血、表皮剥脱）

2. デコルマン decollement (剥皮創)
   皮下組織の牽引で筋層との間が剥離し、内部に血液等を貯留。
   下肢、背中など (衝突の際の外力で生じることもある)
3. 伸展創 small parallel tears
   介達外力で鼡径部、側頚部に生じる多数の平行して走る亀裂

タイヤマーク創　　伸展創



C. 引きずりによる損傷 dragging injuries

車輌の一部に衣服等が引っ掛かり、路上を引きずられて生じる損傷。表皮剥脱→組織の欠損→火傷

＜二輪車運転者の損傷＞

事故時に車外へ投げ出され易い→頭部外傷 (ヘルメットが重要)

1. ガソリンタンク損傷 fuel tank injury
   外陰部を中心とする打撲傷・裂創
   →二人乗り運転の場合には運転者の同定の根拠となる。

＜四輪車の運転者と同乗者の損傷＞

車内構造物 (ハンドル、フロントガラスなど) との衝突・圧迫による鈍器損傷

1. ハンドル損傷 steering wheel injury
   多発肋骨骨折、胸骨骨折、心臓や大動脈の破裂、心臓挫滅、脳挫傷などなど。運転者特有。
2. フロントガラス損傷

3. ダッシュボード損傷

4. シートベルト損傷

5. 車外放出損傷

6. 損傷の左右差→乗車位置 (左側か右側か) の推定
   車の右側に乗車→体の右側に受傷。